

- 千葉中央地区において、コンテナ貨物や完成自動車、RORO貨物の取り扱いが増加しており、貨物混在、ヤード不足、船舶大型化等の課題に対応するため、千葉中央地区の埠頭再編が計画されている。
- 令和2年度から貨物需要の増大に伴う内航RORO船の大型化に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する複合一貫輸送ターミナルを整備する。

整備施設: 岸壁(水深9m)※耐震 延長: 220m
 泊地(水深9m)、防波堤140m、埠頭用地
 整備期間: 令和2年度～令和6年度



平成24年11月
内航RORO船による貨物輸送量

順位	港湾	RORO船	
		取扱量(トン)	構成比
1	名古屋港	1,019,279	21.6%
2	苫小牧港	632,465	13.4%
3	仙台塩釜港	541,183	11.5%
4	東京港	509,012	10.8%
5	北九州港	347,681	7.4%
6	三河港	248,780	5.3%
7	博多港	196,558	4.2%
8	大阪港	168,239	3.6%
9	釧路港	128,117	2.7%
10	千葉港	115,417	2.4%
...			
全国計		4,720,287	100.0%

平成29年11月
内航RORO船による貨物輸送量

順位	港湾	RORO船	
		取扱量(トン)	構成比
1	名古屋港	1,219,316	17.4%
2	苫小牧港	828,509	11.8%
3	東京港	803,857	11.5%
4	仙台塩釜港	549,605	7.8%
5	千葉港	338,547	4.8%
6	茨城港	278,248	4.0%
7	博多港	273,472	3.9%
8	横浜港	264,884	3.8%
9	那覇港	264,448	3.8%
10	北九州港	259,661	3.7%
...			
全国計		7,018,673	100.0%

※平成24年度 ユニットロード貨物流動調査より

※平成29年度 内外貿ユニットロード貨物流動調査より

■ RORO船定期航路

No.	船社	航路	頻度
1	大王海運	千葉～大阪～宇野～三島川之江	6便/週
2	マツダロジスティクス	千葉～広島	3便/週

■ RORO船諸元



(現状)

総トン数	7,756～8,558G/T
自動車積載台数	乗用250台、トレーラーシャーシ100台



(将来)

総トン数	12,000G/T級
自動車積載台数	乗用250台、トレーラーシャーシ160台